# 令和3年度 決 算 報 告

# 予算対比正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益	8		al.	
基本財産運用益	8,200,000	8,195,035	4,965	
特定資産運用益	0	47	△ 47	
受取寄付金	31,000,000	31,000,000	0	e
雑収益	0	457	△ 457	
経常収益計	39,200,000	39,195,539	4,461	
(2)経常費用		*		2:
事業費	39,209,000	39,458,774	△ 249,774	
研究助成事業費	37,016,000	37,359,176	△ 343,176	
給料手当	3,593,000	4,082,294	$\triangle$ 489,294	
退職給付費用	0	121,528	$\triangle$ 121,528	
福利厚生費	575,000	702,065		
通勤交通費	431,000	497,657	$\triangle$ 66,657	
旅費交通費	75,000	12,966	62,034	
通信運搬費	79,000	138,138	$\triangle$ 59,138	
備品•消耗品費	45,000	83,412	$\triangle$ 38,412	1
修繕費	200,000	185,388	14,612	
印刷製本費	30,000	63,738	△ 33,738	
賃借料	1,990,000	1,950,284	39,716	
助成金	24,500,000	25,500,000		第54回助成金1件增
選考費	2,300,000	2,090,000	210,000	
贈呈式費	1,200,000	23,645		贈呈式開催中止
研究報告発表費	1,400,000	1,348,600	51,400	
新聞図書費	98,000	102,961	$\triangle$ 4,961	
雑費	500,000	456,500	43,500	
健康増進事業費	2,193,000	2,099,598	93,402	
給料手当	957,000	1,088,612	$\triangle$ 131,612	
退職給付費用	0	32,408	△ 32,408	
福利厚生費	152,000	187,215	$\triangle$ 35,215	
通勤交通費	115,000	132,708	$\triangle$ 17,708	
旅費交通費	20,000	3,458	16,542	
通信運搬費	9,000	14,652	$\triangle$ 5,652	
備品·消耗品費	12,000	22,248	$\triangle$ 10,248	
修繕費	50,000	41,437	8,563	
印刷製本費	8,000	16,996	△ 8,996	
賃借料	530,000	520,079	9,921	
運営費	300,000	0		健康セミナー中止
諸会費	11,000	12,000	△ 1,000	
新聞図書費	26,000	27,455	$\triangle$ 1,455	16
維費	3,000	330	2,670	

科目	予算額	決算額	差異	備考
管理費	2,682,000	2,191,314	490,686	8 2"
役員報酬	400,000	110,000	290,000	9
給料手当	239,000	272,152	$\triangle$ 33,152	
退職給付費用	0	8,101	△ 8,101	
福利厚生費	37,000	46,800	△ 9,800	8
通勤交通費	29,000	33,175	$\triangle$ 4,175	
旅費交通費	5,000	864	4,136	
会議費	360,000	0	360,000	会議開催中止
通信運搬費	2,000	3,662	$\triangle 1,662$	
備品•消耗品費	3,000	5,556	$\triangle 2,556$	
修繕費	20,000	10,359	9,641	
印刷製本費	56,000	58,698	$\triangle 2,698$	
賃借料	130,000	130,007	$\triangle$ 7	
諸謝金	825,000	825,000	0	
研修費	44,000	66,000	$\triangle$ 22,000	
諸会費	131,000	210,600	$\triangle$ 79,600	
新聞図書費	6,000	6,865	△ 865	
租税公課	1,000	1,760	△ 760	
雑費	394,000	401,715	$\triangle$ 7,715	
経常費用計	41,891,000	41,650,088	240,912	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,691,000	△ 2,454,549	△ 236,451	
基本財産評価損益等	0	△ 10,694,481	10,694,481	
評価損益等計	0	△ 10,694,481	10,694,481	
当期経常増減額	△ 2,691,000	△ 13,149,030	10,458,030	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用		*		
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,691,000	△ 13,149,030	10,458,030	
一般正味財産期首残高	574,677,504	566,794,616	7,882,888	
一般正味財産期末残高	571,986,504	553,645,586	18,340,918	
Ⅱ指定正味財産増減の部	5			
当期指定正味財産増減額	0	△ 547,204	547,204	
指定正味財産期首残高	34,280,181	34,074,211	205,970	
指定正味財産期末残高	34,280,181	33,527,007	753,174	
Ⅲ 正味財産期末残高	606,266,685	587,172,593	19,094,092	8 J

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

The state of the s			
科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部	N .	-	
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	2,267,596	4,702,059	△ 2,434,463
流動資産合計	2,267,596	4,702,059	△ 2,434,463
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	6,791,600	6,791,600	0
普通預金	29,578,750	29,578,750	0
投資有価証券	542,816,939	554,058,624	△ 11,241,685
基本財産合計	579,187,289	590,428,974	
(2)特定資産			
財政強化引当資産	5,401,700	5,401,700	0
特定資産合計	5,401,700	5,401,700	0
(3)その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	356,900	356,900	0
その他固定資産合計	356,901	356,901	0
固定資産合計	584,945,890	596,187,575	△ 11,241,685
資産合計	587,213,486	600,889,634	△ 13,676,148
27.2.2.1			
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債		er.	
未払金	39,080	12,089	26,991
預り金	1,813	8,718	
流動負債合計	40,893	20,807	
負債合計	40,893	20,807	20,086
2000			
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	33,527,007	34,074,211	△ 547,204
指定正味財産合計	33,527,007		△ 547,204
(うち基本財産への充当額)	( 33,527,007)		
2. 一般正味財産	553,645,586		
(うち基本財産への充当額)	( 545,660,282)		
(うち特定資産への充当額)	( 5,401,700)		
正味財産合計	587,172,593		△ 13,696,234
負債及び正味財産合計	587,213,486		

# 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益	9	e 	
基本財産運用益	8,195,035	8,195,316	△ 281
特定資産運用益	47	146	△ 99
受取寄付金	31,000,000	33,000,000	△ 2,000,000
雑収益	457	469	△ 12
経常収益計	39,195,539	41,195,931	△ 2,000,392
(2)経常費用		3F (B	
事業費	39,458,774	37,699,551	1,759,223
研究助成事業費	37,359,176	35,764,355	1,594,821
給与手当	4,082,294	3,637,800	444,494
退職給付費用	121,528	0	121,528
福利厚生費	702,065	580,563	121,502
通勤交通費	497,657	430,696	66,961
旅費交通費	12,966	11,378	1,588
通信運搬費	138,138	131,209	6,929
備品•消耗品費	83,412	65,389	18,023
修繕費	185,388	309,725	$\triangle$ 124,337
印刷製本費	63,738	82,879	$\triangle$ 19,141
賃借料	1,950,284	1,950,271	13
助成金	25,500,000	24,500,000	1,000,000
選考費	2,090,000	2,090,000	0
贈呈式費	23,645	23,125	520
研究報告発表費	1,348,600	1,393,700	$\triangle$ 45,100
新聞図書費	102,961	101,230	1,731
雑費	456,500	456,390	110
健康増進事業費	2,099,598	1,935,196	164,402
給与手当	1,088,612	970,080	118,532
退職給付費用	32,408	0	32,408
福利厚生費	187,215	154,818	32,397
通勤交通費	132,708	114,852	17,856
旅費交通費	3,458	3,034	424
通信運搬費	14,652	18,881	$\triangle$ 4,229
備品·消耗品費	22,248	17,443	4,805
修繕費	41,437	74,593	$\triangle$ 33,156
印刷製本費	16,996	22,101	$\triangle$ 5,105
賃借料	520,079	520,075	4
運営費	0	0	0
諸会費	12,000	12,000	0
新聞図書費	27,455	26,989	466
維費	330	330	0

科目	当年度	前年度	増減
管理費	2,191,314	1,936,901	254,413
役員報酬	110,000	0	110,000
給与手当	272,152	242,520	29,632
退職給付費用	8,101	0	8,101
福利厚生費	46,800	38,699	8,10
通勤交通費	33,175	28,712	4,463
旅費交通費	864	758	106
会議費	0	0	
通信運搬費	3,662	4,720	$\triangle$ 1,05
備品·消耗品費	5,556	4,353	1,20
修繕費	10,359	18,648	△ 8,289
印刷製本費	58,698	59,424	$\triangle$ 72
<b>賃借料</b>	130,007	130,006	
諸謝金	825,000	825,000	
研修費	66,000	62,000	4,00
諸会費	210,600	131,300	79,30
新聞図書費	6,865	6,750	11
租税公課	1,760	2,574	△ 81
維費	401,715	381,437	20,27
程常費用計	41,650,088	39,636,452	2,013,63
评 市 貝	△ 2,454,549	1,559,479	△ 4,014,02
基本財産評価損益等	△ 10,694,481	△ 7,868,207	△ 2,826,27
	△ 10,694,481	△ 7,868,207	△ 2,826,27
計画俱 <del>並</del> 守 当期経常増減額	△ 13,149,030	△ 6,308,728	△ 6,840,30
2. 経常外増減の部	2 10,140,000	2 0,000,720	
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	
世界外資用司 当期経常外増減額		0	
当期程帯が増減額 当期一般正味財産増減額	△ 13,149,030	△ 6,308,728	△ 6,840,30
	566,794,616	573,103,344	△ 6,308,72
一般正味財産期首残高	553,645,586	566,794,616	△ 13,149,03
一般正味財産期末残高	333,043,380	300,784,010	23 10,149,00
I 指定正味財産増減の部	A 547 204	△ 205,970	△ 341,23
当期指定正味財産増減額 ************************************	△ 547,204		△ 205,97
指定正味財産期首残高	34,074,211	34,280,181	
指定正味財産期末残高	33,527,007	34,074,211	△ 547,20
Ⅲ 正味財産期末残高	587,172,593	600,868,827	△ 13,696,23

## 財務諸表に対する注記

- 1. 継続事業の前提に関する注記 該当事項なし
- 2. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)による。尚、重要性が乏しいものは適用していない。 その他の有価証券

時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法時価のないもの…移動平均法に基づく原価法

(2)固定資産の減価償却方法

有形固定資産および無形固定資産…定額法

(3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次の通りである。

(単位:円)

				(十一元・1 1)
科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,791,600	0	0	6,791,600
普通預金	29,578,750	0	0	29,578,750
投資有価証券	554,058,624	0	11,241,685	542,816,939
小計	590,428,974	0	11,241,685	579,187,289
特定資産				
財政強化引当資産	5,401,700	0	0	5,401,700
合計	595,830,674	0	11,241,685	584,588,989

- (注)当期増加額および当期減少額には、預金の設定・解約、満期償還等に伴う資金運用上の組替、 および時価評価を反映したものの、増減については相殺して記載している。
- 4. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 相当する額)
基本財産		( ->	(	8
定期預金	6,791,600	(0)	(6,791,600)	0
普通預金	29,578,750	(0)	(29,578,750)	0
投資有価証券	542,816,939	(33,527,007)	(509,289,932)	0
小計	579,187,289	(33,527,007)	(545,660,282)	0
特定資産		,		
財政強化引当資産	5,401,700	(0)	(5,401,700)	0
合計	584,588,989	(33,527,007)	(551,061,982)	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次の通りである。

			(+1-1-1)
科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	736,625	736,624	1
合計	736,625	736,624	1

# 附属明細書

1. 基本財産および特定資産の明細

財務諸表の注記に同内容の記載があるため省略する。

# 財産目録

### 令和4年3月31日現在

貸借	対照表科目	場所·物量等	使用目的等	金額
(流動資産)		2 V		
	普通預金	三井住友銀行日本橋支店	運転資金	2,267,596
流動資產	<b>全合計</b>			2,267,596
(固定資産)			公益目的保有財産であり運用益を	
基本財産	定期預金	三井住友銀行日本橋支店	公益目的事業に使用している	6,791,600
8	普通預金	三井住友銀行日本橋支店	同上	29,578,750
100	投資有価証券	,		( 542,816,939)
	投資有価証券(指定)	第10回利付国債(30年)	同上	33,527,007
	投資有価証券(一般)			( 509,289,932)
		第108回利付国債(20年)	同上	35,868,800
8	,	第109回利付国債(20年)	同上	119,283,814
		第122回利付国債(20年)	同上	91,000,000
	0	第131回利付国債(20年)	同上	114,050,000
		第132回利付国債(20年)	同上	57,180,000
		第11回利付国債(30年)	同上	63,633,735
		第10回利付国債(30年)	同上	4,643,993
		第122回利付国債(20年)	同上	13,650,540
	9	第9回三井住友FG劣後債(10年)	同上	9,979,050
基本財産				579,187,289
特定資産	財政強化引当資産	定期預金 三井住友銀行日本橋支店	公益目的事業に使用している	2,401,700
		普通預金 三井住友銀行日本橋支店	同上	3,000,000
特定資產				5,401,700
その他固定資産				
	什器備品	耐火金庫	管理運営に使用している	1
	電話加入権	2回線	公益目的事業に使用している	356,900
	固定資産合計			356,901
固定資產	全合計	*		584,945,890
資産台	計			587,213,486
(流動負債)	p0 6			
	未払金	コピー機保守料等		39,080
	預り金	労働保険料		1,813
流動負債	合計			40,893
(固定負債)				-
固定負債	[ 통수計	2 2	L .	0
負債合				40,893
正味則				587,172,593
上	7) 连	and the second	<del>and the second of the second </del>	307,172,393

### 監査報告書

公益財団法人大樹生命厚生財団 理事長 吉村 俊哉 様

公益財団法人大樹生命厚生財団 監事 村田 富生 印

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に 努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の 執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、 業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。 さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類 (貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について 検討いたしました。

#### 2 監查意見

- (1) 事業報告等の監査結果
  - ー 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
  - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な 事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を すべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上